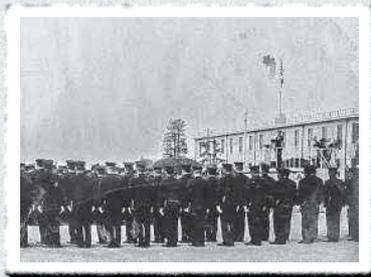


# 大山湖畔の記憶【第1回】 ～鹿島海軍航空隊～

東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡や美浦村週末カフェ、大山スロープのある大山湖畔は、近年映画等の撮影需要が増加し、注目されるエリアです。この場所に刻まれた昭和前期の歴史を、2回に分けてご紹介します。第1回目は『鹿島海軍航空隊』です。

日中戦争開戦の翌年の1938年(昭和13年)5月、旧安中村大山に「霞ヶ浦海軍航空隊安中水上隊」が設置され、同年8月「鹿島海軍航空隊」に改称、12月15日に正式に海軍の常設航空隊として開隊しました。(右の写真は開隊式当日、横須賀鎮守府長官の訓示の様子)



【写真提供 予科練平和記念館】

鹿島海軍航空隊は湖面を滑走路とする水上基地のため、陸地面積は約8万坪と小規模で、阿見町にあった「霞ヶ浦海軍航空隊」と比べると10分の1以下でした。また、収容施設の規模は士官100名、兵員1300名でした。(昭和20年調べ)

当初、「予科練(パイロット養成の基礎訓練を行う海軍飛行予科練生)」を卒業した20歳前後の飛行練習生が「赤とんぼ(フロート付の練習機)」で操縦訓練を行った鹿島海軍航空隊は、戦況の悪化にともない、学徒出陣の予備学生や兵学校出身者らを中心に実用機による迎撃や特攻訓練を行う基地となり、1945年(昭和20年)8月の終戦とともにその役目を終えました。

数度にわたる爆撃で格納庫や兵舎の一部が破壊された基地は、終戦翌月、米軍に接收されました。引渡目録によると、飛行機、砲弾、銃器などのほか、兵舎には防毒マスクやハンモックなどが多数残されていました。



◀詳しくは、美浦村ホームページ内  
「鹿島海軍航空隊跡地基礎調査報告書」をご覧ください。  
企画財政課 ☎029-885-0340 (内線208)

—いばらきフィルムコミッション・美浦フィルムコミッションは—

美浦村の旧鹿島海軍航空隊でも撮影が行われました！

あなたに、会いたい。

FROM SIBERIA WITH LOVE

ラーゲリより愛を込めて

12.9

映画『ラーゲリより愛を込めて』を応援します！

■『ラーゲリより愛を込めて』パネル展  
開催:2022年12/12日→2023年1/22日  
場所:地域交流館 みほふれ愛プラザ

主催:いばらきフィルムコミッション 共催:美浦村 美浦フィルムコミッション・美浦村商工会 協力:東宝株式会社

## 「ラーゲリより愛を込めて」 パネル展

### 展示会場

地域交流館 みほふれ愛プラザ

### 期間

2022・12・12日 ▶ 2023・1・22日

### 内容

- ①「ラーゲリより愛を込めて」パネル展示
- ②ロケ地「旧鹿島海軍航空隊」の紹介

### 地域応援企画

美浦村周遊ランチ店にいて、ランチ写真やラーゲリより愛を込めてのポスター写真をSNSで発信しよう。プレゼントもあるよ

◇問合せ 株式会社プロジェクト茨城  
☎0296-71-5166